熊谷市都市環境改善基本計画 ～エコまちづくり熊谷～を策定しました

市では、主に中心市街地における交通の改善・暑さ対策・緑化などの都市環境改善について、取組みの方向性を示した『熊谷市都市環境改善基本計画～エコまちづくり熊谷～』を策定しました。

『エコまちづくり熊谷』の実現には、市民皆さんのご理解、ご協力が不可欠であり、また、市民と行政が一体となって取り組む必要があるため、本計画の理念や基本方針等についてお知らせします。

◆都市計画課（大里庁舎）TEL 0493-39-4814

1 計画の背景・目的

市では、地球温暖化対策として、様々な取組みを進めています。温暖化の主要因となっているCO_2排出量の約半分は、都市活動により排出されていることから、**環境分野に留まらず「まちづくりの視点」からも、CO_2排出抑制に向けた取組みを進めることが急務**となっており、その取組みを推進するため、本計画を策定しました。

2 計画の位置付け・対象区域

○総合振興計画等の上位計画と整合を図りながら計画を策定しました。

○都市活動の中心となっている**『中心市街地』**を計画の対象区域としました。

○総合振興計画では、中心市街地を含む中央エリアの整備方針として、「まちなか居住を推進し、魅力的で楽しめ、歩いて暮らせる集約型の都市構造を目指す。」としています。

3 『エコまちづくり熊谷』の取組み分野

社会的背景や上位計画等の整理を踏まえ、次の図のように大きく3つのまちづくりの方向性を定めるとともに、現在の中心市街地の特徴を整理しました。

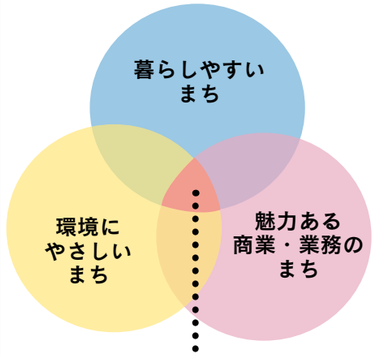
CO_2排出を抑制する取組みとしては、3つのまちづくりの方向性に共通する「道路・交通分野における取組み」が重要であると考えました。

熊谷市中心市街地

特　徴

○**便利なバス網**を有する
○地形が平坦で晴天率が高いので、**自転車活用の可能性が高い**
○**都市機能が集約している**

まちづくりの方向性



バスや自転車の利便性を活（い）かし、よりコンパクトな都市構造へ導くことで、移動にかかるエネルギー（CO_2排出）を減らす

低炭素・集約型都市への転換

中心市街地の道路・交通分野における取組みが重要

4 『エコまちづくり熊谷』の理念と基本方針

以上のことから、次の図のように『エコまちづくり熊谷』の理念を掲げ、その理念を実現するため、基本方針を定めました。

エコまちづくり熊谷の理念

環境への負荷が少ない ひと中心のまちづくり
エコまちづくりで熊谷を元気に！

環境にやさしく、暮らしやすく、魅力ある中心市街地を目指す

エコまちづくり熊谷の基本方針

移動する人の利便性を損なわずに**「自動車から環境負荷の少ない交通手段への転換」**を図る	自動車以外でも便利に利用できるようにし、**「中心市街地へのアクセス・回遊の増加」**を図る
▼	▼
公共交通の充実	**歩行空間、自転車走行空間の確保**
市街地への流入を減らし混雑を緩和することで**「自動車の走行性（燃費）の向上」**を図る	（道路に関係する環境分野）ヒートアイランド対策や緑化の推進により、**「都市の快適性の向上」**を図る
▼	▼
環状道路整備	**街路樹を増やすなど緑化の推進**

平成21年10月にコミュニティひろばで開催された「まちなか自転車フェスタ」。街なかにおける自転車利用の促進をPRしました。

5 中心市街地の現状と将来のイメージ

『エコまちづくり熊谷』では、次のような将来イメージを描いています。

①公共交通の充実・自転車ネットワーク化
バスや自転車での中心市街地へのアクセス向上

②歩行者・自転車等の安全性・利便性・快適性の向上
徒歩や自転車、バスでの中心市街地の回遊性向上

③自動車の適正利用
車での利用が必要な交通が快適に中心市街地へアクセスでき、通過交通は外縁道路へ誘導

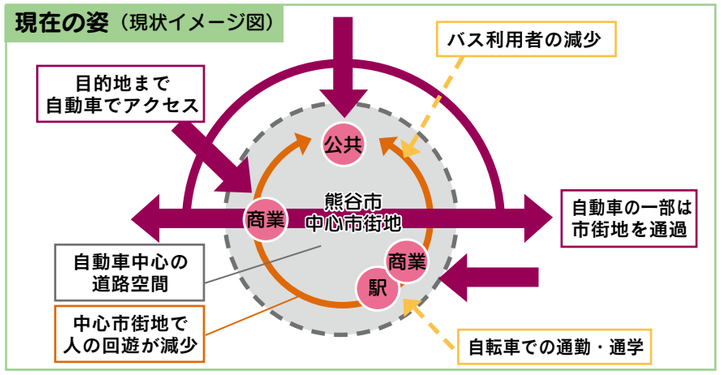
④暑さ対策・緑化の推進
快適な道路空間の形成による都市の魅力向上

電力のみを動力源とする人と環境に優しい電動バス。平成22年11月から12月にかけて、早稲田大学、（財）本庄国際リサーチパーク研究推進機構と連携し、市街地における試験運行を実施しました。

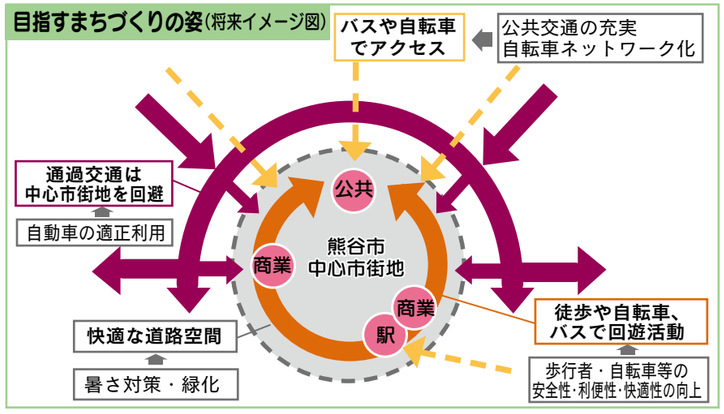
「現在の姿」と「目指すまちづくりの姿」のイメージ図

凡例
- 車の流れ《多い》
- 車の流れ《少ない》
- 徒歩、自転車、バスによる人の流れ《多い》
- 徒歩、自転車、バスによる人の流れ《少ない》

現在の姿（現状イメージ図）



目指すまちづくりの姿（将来イメージ図）



『エコまちづくり熊谷』のさらに詳しい情報は、市ホームページでご覧になれます。

フォトニュース Photo news

2月7日　星川だるま市

星川通りにおいて、毎年恒例の星川だるま市が開催され、縁起物のだるまを買い求める人々で賑わいました。

2月6日　妻沼高校書道部による書道パフォーマンス

妻沼中央公民館で行われた「第3回めぬま映画祭」で、映画「書道ガールズ」の上映に先立ち、妻沼高校書道部・吹奏楽部・合唱部合同による見事な書道パフォーマンスが披露されました。

1月22日　第24回熊谷めぬま駅伝大会

本市の冬の風物詩として定着した本大会。今年は市内外から過去最多の合計242チーム、約1,200人の選手たちが集い、力走をみせました。次回も多くのチームの参加をお待ちしています。

1月20日～24日　熊谷市勤労者文化展

八木橋百貨店カトレアホールで開催され、市内に在住在勤の皆さんによる絵画・書・写真・手工芸・彫刻作品、292作品が出品されました。

2月3日　節分豆まき

高城神社

妻沼聖天山

妻沼聖天山と高城神社で、節分の豆まき・福まきが行われました。福にあやかろうと、多くの参拝者が訪れ賑わいました。

2月5日　ハートフルセミナー

お互いの人権をみとめる明るい社会の実現をめざして、ジャーナリストの江川紹子氏を講師に迎え、「混迷の時代を生きる“命の重さ”～私の取材ノートから～」をテーマとした講演が行われました。

1月15日・23日　グリーンツーリズム イン めぬま

グリーンツーリズムは、地域の魅力を再発見していただくための観光イベントで、今回は妻沼地区で開催しました。参加者自らが収穫した旬のネギとヤマトイモを使って、名物「吟子鍋」を調理するなど、地元ならではの体験をしていただきました。

1月18日　日本武道功労賞受賞を報告

前列左から、手嶋照晃熊谷市弓道連盟副会長、松沢氏、高田 武会長
後列左から、吉田威司熊谷市体育協会理事長、富岡市長、野原教育長

埼玉県弓道連盟名誉会長で熊谷市弓道連盟名誉会長の松沢 岳氏が、日本武道協議会から日本武道功労賞を受賞し、市長に報告しました。弓道では県内初の受賞という快挙です。

1月31日・2月10日　防犯のまちづくり協定を締結

佐川急便との締結

ヤマト運輸との締結

1月15日に佐川急便株式会社熊谷店、2月10日にヤマト運輸株式会社西埼玉主管支店熊谷支店および同熊谷南支店と防犯協定を結びました。合計で約90台の車両が市の防犯活動に加わってくださることになりました。

2月8日　大里・妻沼・江南商工会の「商工会合併契約書」調印式

左から、春日井正臣妻沼商工会長、富岡市長、大久保照夫大里商工会長、福田重夫江南商工会長

4月1日の「くまがや市商工会」発足に向けて、富岡市長の立会いのもと、3商工会の会長が「合併契約書」に調印しました。これにより、総会員数約1,000事業所の、県北最大規模の商工会が誕生することとなります。

2月8日　全国高校生童話大賞「金の星賞」受賞を報告

高校生の豊かな想像力を活かしオリジナルの童話で競い合う童話大賞において、妻沼西中出身の内田彩香さん（本庄第一高校2年、弥藤吾在住）が、1,127点の応募の中から見事金の星賞（大賞）を受賞したことを、市長に報告しました。

おたよりパレット

市報クイズ1月号で寄せられたご意見を紹介します。

テーマ　私の寒さ対策

重ね着をして暖かく過ごすという方もいれば、体を鍛えて基礎代謝を上げるという健康的な方もいました。3月に入り、これからだんだん過ごしやすい気候になります。暖かい春が待ち遠しいですね。

※おたよりパレットは、市ホームページでも更に詳しく紹介しています▶http://www.city.kumagaya.lg.jp/

- 猫の親子が、今はすっかり心をゆるして夜は布団の中で湯たんぽ代り。二匹で省エネに貢献してくれています。（70代・女性）
- 外に出るときはインナーできちんと風除けを考え、フリース素材も活用しています。身体がどうしても縮みがちなので、家事のときも足ぶみや屈伸などをして、血流の活性を促しています。（60代・女性）
- 毎日の運動で、3kmくらい歩いて軽く汗を流します。健康にも最適です。（70代・女性）
- 今は、温かい下着があるので、これで十分寒さ対策になります。（60代・男性）
- 数年前から寝るとき湯たんぽを利用しています。特に朝晩は寒いですが、湯たんぽのおかげで快適に眠れています。（10代・男性）

応募方法

ハガキまたはEメールに、クイズの答え・住所・氏名・年齢・電話番号・今月のテーマ「私の好きな散歩コース」についてのコメントを必ず記入のうえ、3月24日（木）までにご応募ください（一人につき一通）。
※コメントがないものは無効となります。

《応募先》
〒360-8601 宮町二丁目47番地1 熊谷市広報広聴課
kohokocho@city.kumagaya.lg.jp

※なお、市内の商店・企業を知っていただこうという趣旨で、当選者にはプレゼント引換券をお送りしますので、お店でご使用ください。当選者の発表は、プレゼント引換券の発送をもって代えさせていただきます。

1月号の正解　①ホームページ　②緑
◆応募総数61通中、正解58通

今月のテーマ「私の好きな散歩コース」にいただいたコメントは、「おたよりパレット」や市ホームページで紹介させていただく場合があります。

読んで当てよう！市報クイズ

今月の問題

次の□に入ることばや数字を、それぞれお答えください。
①熊谷さくら祭は「日本さくら名所100選」に選定される熊谷□で行われます。
②統一地方選挙の投票日は県議選が4月10日（日）、市議選が4月□日（日）です。

今月のプレゼント

鶏の唐揚げ専門店 山田屋ご提供の、**もも・むね肉・手羽先1セット**を、正解者の中から抽選で**20人**に差し上げます。

鶏の唐揚げ専門店 山田屋　**所在地**：宮町2-152 水野第2ビル1階　**電話**：048-598-6600

市報クイズでは、プレゼントを提供していただける商店・企業等を募集しています。
詳しくは、広報広聴課 TEL 内線212までお問合せください。

情熱世代 夢追い人

世界に響け若き歌声
郷土への愛が心を支える

第41回 イタリア声楽コンコルソ シエナ大賞受賞（優勝）
声楽家・バリトン 原田勇雅（ゆうや）さん（宮町）

スポーツマンからの転身

高1まで陸上部で短距離の選手でした。国体出場を密かに目標にしていたくらい、本気で取り組んでいました。転機は高1の冬、右足の深刻な肉離れで、陸上を断念せざるを得なかったのです。

深い挫折（ざせつ）の中、当時の熊谷高校音楽部顧問で恩師の大澤壮吉先生から、音楽部への入部を勧められました。しかし、運動部から文化部への転向には抵抗があり、迷いながらも音楽部を見学しに行きました。そこで、初めて聞いた男声コーラス、その迫力に圧倒されました。「こんな世界もあったのか！」と感激し、入部を決めたのです。

才能を開花させ藝大（げいだい）へ入学

音楽の下地が無かった私には、全てが新鮮でした。もともと熱中しやすく、皆で何かをするのが大好きな性格。音楽にどんどんのめり込んでいく自分がいました。そして、高2の終わりの進路選択のとき、自分が本当に進みたい道は、既に「音楽」でした。

音大受験の決意を固めた私は、高3から本格的にレッスンを開始。4人の先生に付き、声楽のほか、ピアノ・楽典など、基礎から勉強し、東京藝術大学の声楽科に入学することができました。

藝大では、素晴らしい先生方や演奏家との出会いや共演を通して、音楽を志す上で大切なことを学びました。大学院修了まで7年間、各国の歌曲やオペラをはじめ、演技や舞台制作に至るまで様々なことを学び、コンサートやコンクールなど、多くのステージ経験を踏ませて頂きました。

1月10日に行われた、第41回イタリア声楽コンコルソ本選で歌う原田さんと、ピアノ伴奏の小山里巴（りは）さん

国際的な音楽家を目指して

1月のイタリア声楽コンコルソ出場、本番では、ピアノの小山里巴さんと共に、今自分が表現できる全てを出し切った感がありました。ベルリンやニューヨークなど、海外で研修を積んだこともよい影響があったように思います。優勝できたことで、大きな自信を掴んだと同時に、イタリアで本格的に勉強する道も開けました。イタリアはオペラ発祥の地。今からわくわくしています。

私は熊谷に育ててもらいました。常に心にあるのは、ステージに立てる喜びと、支えてくれる人々への感謝の気持ち。だから、地元を音楽で盛り上げたいです。音楽が身近な存在となるよう、自らの演奏活動のほかにも、演奏会などの企画・プロデュースを通して、音楽と人の輪がひろがっていくお手伝いができたらと思っています。

これからも様々なことに挑戦し続け、国際的に通用する音楽家に成長したい。そして、熊谷を音楽であふれるまちにしていきたいですね。

原田勇雅公式ホームページ
http://www.haradayuya.com/

よみがえる彩色
歓喜院聖天堂

第5回 聖天堂の彫刻③ 三聖吸酸（さんせいきゅうさん）

聖天堂の奥殿の南側上部、唐破風（からはふ）の下には、三人の聖人が一つの瓶（かめ）を囲んでいる彫刻（写真）があります。これは、孔子、釈迦、老子が酢をなめて、その酸っぱさを共感している様子を表現したものであり、「三聖吸酸」という中国の故事に由来しています。つまり、酢が酸っぱいという事実は皆同じであり、儒教、仏教、道教など、宗教や思想が異なっているとしても、真理は一つであるという「三教一致（さんきょういっち）」を意味しています。

この故事のオリジナルは、儒教の蘇軾（そしょく）と道教の黄庭堅（こうていけん）という二人の書家が、仏教の仏印禅師（ぶついんぜんじ）のもとを訪れた際に、桃花酸（とうかさん）という酢をなめ、三人が共に顔をしかめたという逸話に基づいています。

左から、孔子、釈迦、老子

「三聖吸酸」は、寺社建築や屏風絵などの題材として使用されることがあり、日光東照宮における陽明門（ようめいもん）の彫刻や、海北友松（かいほうゆうしょう）の『寒山拾得（かんざんじっとく）・三酸図屏風（さんさんずびょうぶ）』（重要文化財）などにおいても見ることができます。

聖天堂における三聖吸酸の彫刻では、三聖人が前方を向き、共に人差し指を立てながら、酸っぱさを確認するように口を小さく開けています。その表情はとても温和であり、親しみを感じることができます。

また、彩色に目を向けると、孔子の服装や中央の瓶、植物の彫刻などに使われている緑色は孔雀石（くじゃくいし）を原料としており、その色合いからはとても落ち着いた雰囲気が醸（かも）し出されています。これらの表情や彩色は、漆（うるし）塗りされた周囲の木枠の中心に浮き上がり、独特の空間を作り上げています。まさしく、だれが目にしても「美しい」という事実がそこに存在していることが分かります。

◆江南文化財センター TEL 048-536-5062

人口と世帯

●平成23年2月1日現在（対前月比）
■人口 205,128人（-174） 男 102,489人（-123） 女 102,639人（-51） ■世帯 82,192（-45）

「市報くまがや」3月号は、72,000部作成し、広告料収入を差し引いた印刷・製本にかかる市の負担は、1部当たり16円です。
「市報くまがや」は、再生紙を使用しています。

●発行日 平成23年3月1日 ●発行 熊谷市
●編集 広報広聴課 〒360-8601 熊谷市宮町二丁目47番地1
TEL 048-524-1111(内線206) FAX 048-520-2870
「市報くまがや」は、毎月1日(原則)に発行し、自治会を通してお届けします。また、市役所・行政センター・出張所・公民館・駅連絡所などでもお配りしています。インターネットでも「市報くまがや」をご覧になれます。(URL) http://www.city.kumagaya.lg.jp/